

6/7
(月)

ジャガイモを寄贈 地産地消で笑顔に



ジャガイモの寄贈を受けた高齢者ら

エグチベジフル出荷生産者組合は6月7日、120箱のジャガイモを町内の介護施設や保育園、幼稚園に寄贈しました。

これは新型コロナウイルス感染症が拡大するなか、同組合が町内の高齢者や子どもたちに元気をだしてもらおうと寄贈を決めたものです。

エグチベジフル株式会社の江口六甲さんは「ジャガイモ1つ1つに生産者さんの気持ちが込められている。地元のを地元のかたに食べてもらい元気になってほしい」と話しました。

寄贈の様子は同社のYouTubeで見ることができます。

6/9
(水)

平尾小学校で租税教室 きちんと納めよう

6月9日、平尾小学校(宮ノ前香織校長・71人)で租税教室が行われました。

社会の授業の一環として毎年行われていて、同校6年生8人は、税金の種類や使い道、長島町ではどんなことに使われているのかを学びました。

特に学校で児童らが使っている教科書やパソコン、エアコンなどにも税金が使われている話には興味津々な様子でした。

ひらみち こたろう
平通虎太郎くんは「いままで税金があるのは嫌だと思っていたけど、みんなのために使われていること

を知ってきちんと納めたいと思った」と税金の大切さを語りました。



税金の質問を受ける児童

6/9
(水)

長元信男さんが母校を訪問 未来へのリレー



長元さんに質問をする児童ら

6月9日、長元信男さん(薄井)が母校である鷹巣小学校(田畠正英校長・192人)を訪問しました。

これは聖火リレーを走った長元さんの計らいによる町内全小中学校への聖火トーチの回覧の一環として行われました。

昼休みの時間に集まった児童らは長元さんの話に熱心に耳を傾け、トーチを目の当たりにすると、大きな歓声があがっていました。リレーの伴走者として走った6年生の宮路恵美奈さんは「初めてで緊張したけど、いい経験ができた」と話しました。

児童らの多くは長元さんへ質問をして、将来オリンピックに出たい、聖火リレーを走ってみたいと思いを募らせていました。